



かもみーる通信

111号

2019年9月

CONTENTS

* シンポジウム

* カモミール月曆

* 後期授業ご案内

* 学童保育トライアル

* 保育園たより



文部科学省科学技術人材育成費補助事業「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ（連携型）」

シンポジウム

入場
無料

人口減少時代における 新たな社会デザインの構築に向けて — 男女共同参画の視点から —

日本社会は、少子高齢化による労働力人口の減少、高齢者比率の相対的な高まりによる社会保障制度の揺らぎ、都市部の人口集中と地方の過疎化など、既存の枠組みだけでは対応できない大きな社会変容に直面しています。他方で、AIや産業ロボットをはじめとする技術革新やイノベーションが生み出す新たな社会サービスは、私たちの働き方だけでなく生活スタイルにも大きな変革をもたらし始めています。このように経済社会情勢が大きく変容する「新たな時代」に向かうなかで、私たちは「新たな社会デザイン」をどのように描くことができるのでしょうか。

本シンポジウムでは、国会、企業、行政、大学などで活躍する登壇者が、世界と地方都市（岐阜）、家族と女性、企業と地域社会、イノベーションと生活、そして男女共同参画／ダイバーシティの視点から、変化する社会における「新たな社会デザイン」について多角的に構想します。

日時： 2019年 9月27日（金） 14:00～17:00（開場 13:30）

会場： 岐阜大学 講堂（岐阜県岐阜市柳戸1-1）

第1部：講演 14:05～15:15

野田 聖子 元女性活躍担当大臣 衆議院議員（14:05～14:45）

柴橋 正直 岐阜市長（14:45～15:15）

第2部：トークセッション 15:25～16:30

柴橋 正直 岐阜市長

野々垣 孝彦 アピ株式会社 代表取締役社長

原 永子 岐阜県 男女共同参画・女性の活躍支援センター長

速水 悟 岐阜大学 工学部教授

落合 絵美 岐阜大学 男女共同参画推進室特任助教

詳細は、男女共同参画推進室WEB <http://www1.gifu-u.ac.jp/~sankaku/> でご確認ください。



カモミール月曆 (室長からのメッセージ)



副学長（多様性人材活力推進担当） 林 正子

〈男女共同参画推進〉名古屋大学の精力的な取り組み

今回の「カモミール月曆」では、2020年4月、国立大学法人 東海国立大学機構としてともに歩むこととなった名古屋大学の男女共同参画推進の取り組みについてご紹介します。

「男女共同参画社会基本法」の施行（1999年6月）を受け、名古屋大学は全国の大学に先駆けて活動を開始しました。2015年5月には、女性の権利拡大をめざす国連機関 UN Women による「He For She」事業「IMPACT 10×10×10」（10国家元首、10企業CEO、10大学長）において、ジェンダー平等を推進する世界の主要10大学に、日本唯一の大学として選出されました。名古屋大学 男女共同参画推進の取り組みが、先進的かつ精力的であることの一証左であるといえるでしょう。

岐阜大学 男女共同参画推進室より7年早く、2003年1月に創設された名古屋大学「男女共同参画室」は、2017年7月には「男女共同参画センター」<http://www.kyodo-sankaku.provost.nagoya-u.ac.jp/> に改組され、名古屋大学における男女共同参画推進体制が一層拡充されることとなりました。

当初より室長、センター長を歴任なさってこられたのが、生命農学研究科の東村博子教授です。現在、男女共同参画センターは、副理事をお務めの東村センター長のもと、3名の専任教員と2名の兼任教員で構成され、事務体制は総務部職員課が担っています。部局長により構成される「男女共同参画推進専門委員会」との連携のもと、「女性教員比率向上のためのポジティブアクション」<http://www.nagoya-u.ac.jp/about-nu/declaration/positive/> が提言され実践されています。

松尾清一 総長のリーダーシップのもと名古屋大学挙げての画期的な取り組みの一例は、今年5月の各紙で紹介された「学内評議会、2割女性に 名大、規定で比率引き上げ」（「日本経済新聞」2019年5月27日（月））でしょう。年度当初、28人の評議会メンバーのうち女性教員は2人だけだったことから、新たに定めた学内規定にもとづき学内の選挙で女性評議員4人を加えたとのことです。

このような画期的な取り組みをはじめ、名古屋大学男女共同参画推進の堅実かつ実効性のある取り組みの数々（一部のみ紹介）は、次のとおりです。

地域社会全体の男女共同参画推進に寄与することを趣旨として、愛知県・名古屋市・愛知県経営者協会とともに「あいち男女共同参画社会推進・産学官連携フォーラム」結成（2004年）。

構成員の家庭と仕事の両立支援を趣旨として、学内保育園「こすもす」を東山キャンパスに開園（2006年）、「あすなろ」保育園を鶴舞キャンパスに開園（2009年）、全国で初めての大学内 学童施設「ポピンズアフタースクール」を東山キャンパスに開所（2009年）。

文部科学省科学技術人材育成費補助事業については、「女性研究者支援モデル育成」事業（2007年）、「女性研究者養成システム改革加速」事業（2010年）、「女性研究者研究活動支援事業（連携型）」（2014年）、「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ（特色型）」にそれぞれ採択され、さらに博士課程教育リーディング・プログラム「『ウェルビーイング in アジア』実現のための女性リーダー育成プログラム」にも従事（2013年）し、数々の成果を挙げています。現在、名古屋大学で実施展開されている「女性研究者研究活動支援事業」の詳細については、<http://www.kyodo-sankaku.provost.nagoya-u.ac.jp/diversity/effort.html> をどうぞご覧ください。

また、名古屋大学では理系女子学生のコミュニティ「あかりんご隊」<https://acalingo.iimdo.com/> が結成されており、男女共同参画センターがその活動を支援しています。学生自身が主体的に「理系女子学生エンカレッジ交流会」「女子中高生理系進学推進セミナー」「若手女性研究者サイエンスフォーラム」「出張実験セミナー」などを企画実施し、女性研究者の活躍に向けての学生自身による取り組みも精彩を放っています。

男女共同参画推進の取り組みにおける名古屋大学との具体的な連携については、今後、それぞれの現場の実情や課題をふまえ協議を重ねてゆくこととなります。実効性のある制度をととのえ、精力的な活動を展開している名古屋大学の取り組みに、岐阜大学構成員の皆さんとともに大いに学ばせていただきたく願っています。

後期授業ご案内

水曜
1限

全学共通教育科目 ～ワーク・ライフ・バランス（男女共同参画論）～

「ワーク・ライフ・バランス」や「男女共同参画」という言葉を聞いて皆さんは何を思い浮かべますでしょうか。ワーク・ライフ・バランスや男女共同参画は、政府や企業が掲げる重点課題であると同時に、私たちの日常生活に深く関わっている事柄でもあります。授業では、様々な専門分野の担当者がオムニバス形式で政策、仕事と育児の両立、身体、テクノロジー、DV（ドメスティック・バイオレンス）、生物学、文学など様々な視点から「男／女（共同参画）」とは何か、またその関係について、諸外国の例も取り上げながら学びます。

回	開講日	タイトル	講師
第1回	10月2日	イントロダクション —現代社会における男女共同参画論の意義—	落合 絵美 (男女共同参画推進室)
第2回	10月9日	岐阜大学における男女共同参画推進の取り組み	林 正子 (副学長・男女共同参画推進室長)
第3回	10月16日	ライフ・デザインを考える	高橋 玖未子 (日本政策金融公庫)
第4回	10月23日	健康で充実した人生のための健康基礎知識	山本 眞由美 (保健管理センター)
第5回	10月30日	中国古典世界における女と男	松尾 幸忠 (地域科学部 地域文化学科)
第6回	11月13日	情報通信技術と仕事・生活	田中 雅宏 (工学部 電気電子・情報工学科)
第7回	11月14日	海外での男女共同参画	竹内 保 (医学系研究科)
第8回	11月20日	政治と男女共同参画	落合 絵美 (男女共同参画推進室)
第9回	11月27日	女性のキャリアの現状—看護職の例から—	今田 葉子 (医学部 看護学科)
第10回	12月4日	共働きと共子育ての楽しさについて	新村 昌治 (工学部 電気電子・情報工学科)
第11回	12月11日	ワークライフバランスに向けた取り組み（仮）	木村麻理 (社会保険労務士)
第12回	12月18日	人間も動物？動物の「家族関係」について	椎名 貴彦 (応用生物科学部 共同獣医学科)
第13回	1月8日	中国における女性の役割と結婚をめぐる現状	魏 永分 (流域圏科学研究センター)
第14回	1月22日	男女共同参画社会で「働く」ための 就職活動セミナー	白村 直也 (教育推進・学生支援機構)
第15回	1月29日	男女共同参画社会の実現に向けて (全体の総括)	落合 絵美 (男女共同参画推進室)



文部科学省科学技術人材育成費補助事業「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ（連携型）」

夏季休暇中の学童保育トライアル

（カモミールこども大学）

毎年参加者にご好評いただいている「夏季休業期間学童保育トライアル（カモミールこども大学）」を今年度も8月19日（月）・20日（火）の2日間にわたって実施しました。

24名の小学生たちは、薬草園ツアー（岐阜薬科大学）、おもちゃ作り・遊び（岐阜女子大学）、農場見学・農作物の収穫体験（岐阜大学）、職業体験（岐大祭実行委員会有志）、みつばち講座（アピ株式会社）など、岐阜大学および連携機関の特性を活かした充実した内容のプログラムを満喫しました。

19日



クイズ大会



岐阜薬科大学
薬草園ツアー



岐阜女子大学
作って、みんなで遊ぼう！



アピ株式会社
はちみつ採集
・試食体験



おやつタイム

20日



岐阜大学 岐阜フィールド 科学研究教育センター
野菜収穫・動物見学



ランチタイム



岐阜大学
マーブル
タウン
職業体験



楽しい2日間でした♪

保育園たより

りす



ぱんだ



きりん



岐阜大学男女共同参画推進室（人材開発部職員育成課男女共同参画係） URL：http://www1.gifu-u.ac.jp/~sankaku/

〒501-1193 岐阜市柳戸1-1 TEL：058-293-3397 FAX：058-293-3396 E-mail：sankaku@gifu-u.ac.jp

*男女共同参画に関するご意見・ご要望は、男女共同参画推進室にお願いします。